

2002 ワールドカップサッカー対策協議会だより

第 7 号

対策協議会事務局：菅谷台町内会

1. 2002FIFA ワールドカップ宮城仙台推進委員会との協議実施

～利府町ワールドカップサッカー対策室同席～

7 月 16 日(月) 19:30 から 1 時間半にわたって、推進委員会輸送警備班との協議を行った。事務局から質問状として出した問題を元に、「交通アクセス問題」と「警備問題」について広範に意見交換を行った。要点は次の通り。

【推進委員会】

- 1) 一般車はスタジアム近郊には乗り入れさせない。仙台港と東北道泉 IC 近くに駐車場を設置して、そこからシャトルバスでスタジアムまで運ぶ。当初輸送計画案にはなかった岩切駅使用など、退場時は入場時と異なる対応が必要になる。
- 2) スタジアム周辺の交通規制は考えないといけない。周囲の住民の方々の同意があれば実施したい。
- 3) クローズドサーキット(大型スクリーンによる不特定多数のテレビ観戦施設)の設置はスタジアムから離れたところで、かつ、屋内を想定しているの利府に設置する可能性はきわめて低い。
- 4) 二次放映権の問題があるので、クローズドサーキットは簡単には設置できない。
- 5) 公園で野宿する者は取り締まることができない。試合前日などスタジアム至近の団地の公園を巡回するなどして警戒する。
- 6) 野宿者に対応する野営場の設置は現状では難しい。まだまだ検討課題である。

【協議会側の意見】

・スタジアム周辺の交通規制は当然行われるべきと考える。キリンカップ大分では 2km の住民など許可車両以外の進入禁止規制が行われ、交通混雑等の混乱を未然に防止できた。一方、交通規制がほとんど行われなかったキリンカップ宮城では渋滞と混乱を生じた。

・チケットをもたないでスタジアム近辺に来る者をクローズドサーキットに誘導するにはスタジアム至近にあるべきだ。シャトルバスなどでやってきた者をまた遠くまで移動させるのは難しい。遠くに設置するということであれば、場所と開催情報の周知徹底が必要である。

・野営場は必須。野宿する人を追っ払っておいて行き先を作らないのはおかしい。昨年 6 月の知事答弁でも野営場設置に言及しており、少なくともトイレ付きの寝る場所の提供はすべきである。この問題も含めて、種々の問題は、最悪の状態を想定して対策をたてるべきである。

・利府に来ていただいた人々をもてなすことも重要であり、その意味からもクローズドサーキットや野営場は必要不可欠と考えている。

・大きな国際大会であり、青少年の非行の問題も考えられる。その対策も推進委員会、利府町、学校、警察などと歩調をとって、協議会や各町内会でできることは実施していきたい。

2. 2002FIFA ワールドカップ™ 勉強会 in RIFU

ワールドカップ宮城仙台推進委員会と利府町は利府町民向けのワールドカップ勉強会を実施します。ワールドカップって何？から始めて、来年の 6 月利府町がどうなるのか、複数の関係者に予想していただく、ワールドカップ宮城のすべてがわかる、2 時間です。是非ともご参加ください。

とき = 8 月 19 日(日) 午後 1 時 30 分～午後 3 時 30 分

ところ = 十符の里プラザ三階文化ホール

入場料 = 無料 (駐車場も用意します)

内容

「2002 年 6 月利府町はどうなる？」をテーマに、講演、ビデオ上映、パネルディスカッション

その他 = 入場は先着 200 人、午後 1 時から受付開始

問い合わせ先 = 町ワールドカップサッカー対策室 TEL : 356 - 9100

主催 : 2002FIFA ワールドカップ™ 宮城仙台推進委員会・利府町

協力 : ワールドカップ宮城仙台友の会「キックラブ」・利府町ワールドカップサッカー対策協議会

協議会事務局：〒981-0135 利府町菅谷台 1 - 12 - 8 村松淳司

ファックス：767-1080 電子メール：mura@iamp.tohoku.ac.jp